

和歌山だよいい

令和3年
(2021) 9月号



鷲ヶ峰コスモスパーク (有田川町)

標高586.2メートルを誇る鷲ヶ峰の頂上に位置し、コスモスパークの名のとおり、秋には園内一円にピンクや白のコスモスが咲き誇ります。可憐なコスモスと夕陽とのコントラストが美しいことから「和歌山県の朝日・夕陽100選」に選ばれています。

(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2~P10
3. お知らせ…………… P11~P16
4. ふるさと歳時記…………… P17~P18



情報過多の時代の説明責任

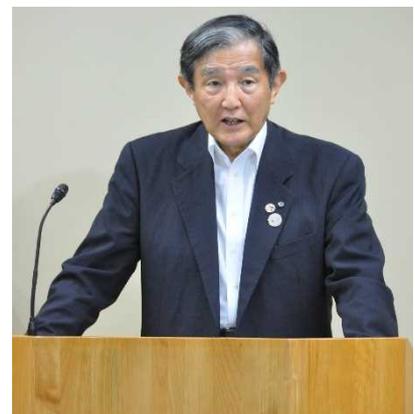
政治や行政で大事なことは、私は、説明責任を果たすことであると思います。もちろん説明したことをきちんと実行することはもちろんです。その時には、これからやろうとしていることも大事ですが、それが何故必要かという「なぜどうして」も必要です。また、やらなかったことも何故かということの説明する必要があるでしょう。

新型コロナウイルス感染症対策でも、和歌山県は、このことを励行するようにしています。きちんとデータを取って、それを県民の皆さんに示して、そこから科学的、論理的に説明のできる対策を、理由も含めて説明しながら、今はこれがベストと思われる対応をしているつもりです。記者会見や、県庁のホームページや、知事メッセージのメルマガサービスなどを見ていただければ全部出ています。

しかし、世の中では、かなり違う性格の情報^{あふ}が溢れています。誰か有力者あるいは権威といわれる人が唱えたことはあつという間にマスメディアの主流になります。大体の場合、何故そうなのかは示されません。前例踏襲はいけないと言っているのに、前に定まった方針は、地域と時間によって実態は違うのに、そればかりに焦点を当てた情報が画一的に流されます。一方、ネットを中心にただの噂話やデマの類もどんどん拡散されます。正しい情報ももちろんたくさんありますが、それを信じて行動することによって発生する別の不都合とどちらが大事か、冷静に判断できる人ばかりとは限りません。また一々中身を精査するのは面倒なので、レッテル貼りにこだわる傾向もあります。「緊急事態宣言を早くしろ」の類ですが、すればよいわけではなく、それで何が実行しやすくなるかが本質なのですが、それを考えるより世の情報に乗って大勢についてしまう場合も多いようです。情報過多の時代なのです。マスメディアとネットがそれを加速しています。

しかし、本当に問題を解決するには、政治や行政の責任者が事実とデータに基づき科学的、論理的に必要なことを説明し、実行することです。そしてその説明を溢れる情報^{あふ}に流されることなく、事実とデータと論理によって正しいか否か考える皆さんのお力が必要です。

和歌山県知事 仁坂吉伸



8/24 記者会見にて

●東京2020オリンピック競技大会のスケートボード競技で金メダルを獲得した四十住さくら選手が知事を表敬訪問しました

8月4日に行われた東京2020オリンピックのスケートボード競技「パーク」種目において、金メダルを獲得した岩出市出身の四十住さくら（よそずみ さくら）選手が8月24日、知事を表敬訪問しました。

スケートボード競技は、東京2020オリンピックで初採用された競技で、「ストリート」と「パーク」の2種目があります。「ストリート」は街中のようなコース、

「パーク」は複雑な窪地状のコースにおいて、ジャンプや回転といった技（トリック）の難易度や成功率、スピード並びに全体の流れやオリジナリティーなどを総合的に評価し、その得点を競います。

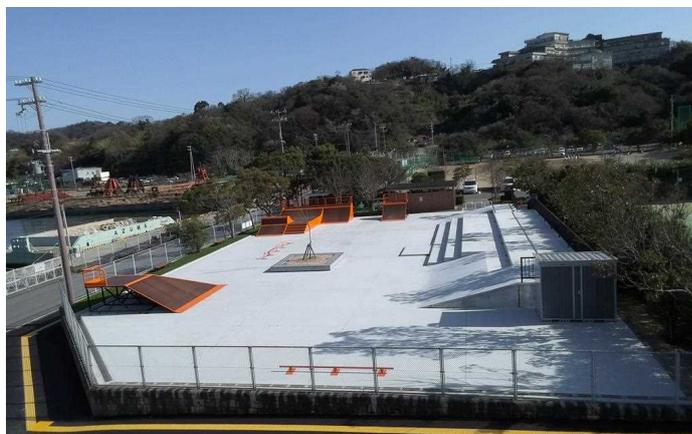
四十住さくら選手は、小学校6年生の時から競技を始め、両親や和歌山で頑張っている若者を応援しようと名乗りを上げた「株式会社オオミヤ」をはじめとする地元の方々の支援を受けながら競技を続け、2018年に開催された日本選手権、アジア大会、世界選手権を制覇しました。東京2020オリンピックの決勝においては、女子では世界で数人しかできない空中で1回転半する大技「540」を2回連続で披露。唯一の60点台を出し、優勝しました。

県では、多くの方にスケートボードの楽しさを知っていただくため、令和2年3月に「わかやまスケートパーク」を和歌山市に造っており、スケートボードの競技力の向上及び競技人口の拡大を図っています。

東京2020オリンピック・パラリンピックには、四十住さくら選手をはじめ、和歌山県ゆかりの選手が13名出場し、その全力を尽くす姿は県民をはじめとする多くの方々に夢や感動を与えてくれました。県では、引き続きゴールデンキッズ発掘プロジェクトなどにより、県民の皆さんに夢や感動を与えることができるアスリートを育成してまいります。



四十住さくら選手と知事



令和2年3月にオープンした
「わかやまスケートパーク」

● 第 103 回全国高等学校野球選手権大会で 21 年ぶりに優勝した智辯学園和歌山高等学校野球部の皆さんが知事を表敬訪問しました

9月6日、第103回全国高等学校野球選手権大会で21年ぶりに優勝した智辯学園和歌山高等学校野球部の皆さんが知事を表敬訪問し、優勝を報告しました。

智辯学園和歌山高等学校は、大会の4試合全てで先制点を取るなど安定した試合運びを行い、決勝では奈良の智辯学園との兄弟校対決を9-2で勝利。2000年以来、3回目の全国制覇を成し遂げました。

表敬訪問では、中谷仁監督が、「今回の優勝は、県民の皆さんの応援やサポートがあつてのことであり、本当に感謝しています。」と感謝を述べ、宮坂厚希主将からは「和歌山からの温かい応援が力となりました。優勝した経験をこれからの人生に生かしていきたい。」と挨拶がありました。

知事からは、「県民を勇気づけてくれたことに心から感謝を申し上げたい。」と感謝を伝え、記念品として、「きいちゃんタオル」を贈呈しました。

智辯学園和歌山高等学校野球部の皆さんのこれまでの努力に敬意を表しますとともに、今後のさらなる活躍を期待いたします。



智辯学園和歌山高等学校野球部の皆さんと知事

● 第 45 回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文 2021）を開催しました

7月31日から8月6日に開催しました「第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）」では、和歌山県をはじめとする全国の高校生の皆さんがこれまでの練習の成果を遺憾なく発揮し、多くの感動を与えてくれました。

今回は、7月31日に行われた総合開会式の模様を中心に紹介します。

<開会式・第1部「式典」>



生徒実行委員会委員長・前冬磨さんの挨拶 大韓民国の高校生の皆さんによるWEB発表

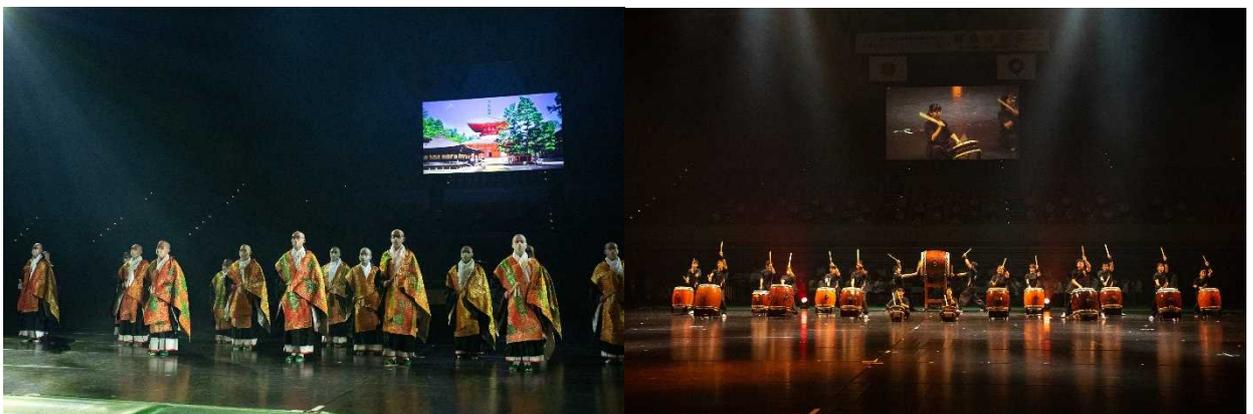
各都道府県代表・部門代表生徒及び国際交流を行う生徒が、「届けよう」から始まるメッセージとともに入場。秋篠宮皇嗣殿下より「日頃の活動と日々の生活の中で培われた創造性を表現し、それを全国へと発信されますことを期待いたしております。また、それぞれが可能な場において交流を深め、友好の輪を広げていただきたいと思います。」との温かいメッセージをいただきました。

その後、生徒実行委員会委員長である開智高等学校の前冬磨さんが、「私は、多くの高校生たちが憧れを抱き、目標とするこの大会が誰かの希望となりますようにとの願いを込めました。誰かを思い、温かみが溢れ、優しさに包まれた場所。それが私の目指した紀の国わかやま総文です。誰かを想い、誰かの幸せを願う。その心が多くの人々を笑顔にする。多くの方々が笑顔になれるように、私たちは仲間とともに協力します。」と歓迎の挨拶を述べました。

<開会式・「交流」>

オンラインでトルコ共和国、インド及び大韓民国の高校生の皆さんが民謡や伝統舞踊を紹介するとともに、和歌山県と次年度の開催地である東京都の高校生の皆さんが劇を通して、「ふるさとの大切さ」を伝えました。

<開会式・「開催地発表」>



高野山高等学校の生徒の皆さんによる声明 紀北農芸高等学校、海南高等学校美里分校、きのかわ支援学校の生徒の皆さんによる和太鼓

開催地発表では、和歌山県の高校生たちが、大会テーマである「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」をテーマに、和歌山で生まれた生命が、たくましく成長し、多くの仲間とともに未来へと羽ばたくストーリーを5つの章に分けて表現しました。

まず、高野山高等学校の生徒の皆さんが声明を披露した後、10年前に発生した紀伊半島大水害に関する映像が流れ、水害で被災したピアノを桐蔭高等学校の生徒が奏でました。続けて、紀北農芸高等学校、海南高等学校美里分校、きのかわ支援学校の生徒の皆さんが和太鼓で、命の鼓動とエネルギーがたくましく成長する様を表現しました。



りら創造芸術高等学校の生徒の皆さん
による演舞



星林高等学校の生徒の皆さんの演奏

そして、向陽高等学校の吹奏楽に合わせて、りら創造芸術高等学校の生徒の皆さんが平安衣装を纏い、幻想的なダンスを披露した後、エルトゥール号の遭難事件から始まった和歌山とトルコの友情を那賀高等学校の生徒の皆さんが朗読、星林高等学校の生徒の皆さんがマーチングで表現しました。さらに、フィナーレでは、ベートーベンの第九「歓喜の歌」の「すべての人々は兄弟になる」というメッセージが込められた歌詞を出演者全員で合唱しました。

この開催地発表には、今年が東日本大震災や紀伊半島大水害から10年となる節目の年であり、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの尊い命が奪われている状況であることから、高校生の皆さんの「命の重さ、尊さを考えたい」という思いと、「他人と違うことについて不安を感じるのではなく、様々な個性を認め合える社会にしたい」という願いが込められています。



フィナーレの様子

今月の和歌山県政トピックス

大会イメージソング「届けよう 和の心」の作詞・作曲を含め、「紀の国わかやま総文 2021」の企画・運営は、和歌山県の高校生たちが自ら行っており、本大会の成功は、高校生の皆さんの無限の可能性と和歌山県の明るい未来を感じさせるものとなりました。

10月には、「紀の国わかやま文化祭 2021」を開催する予定となっています。県では、本大会と同様に、和歌山県が誇る素晴らしい文化の魅力が伝わる大会となるよう準備を進めてまいります。

<和歌山県勢の受賞者・入賞校一覧> ※敬称略

部門	賞	都道府県名	
放送部門	文化庁長官賞	和歌山県	
部門	賞	受賞者名・学校名	作品名・題名
演劇部門	優良賞	和歌山県立向陽高等学校	如何にして蛞蝓は蝸牛であることをやめたのか
日本音楽部門	優良賞	和歌山県立橋本高等学校	大河
書道部門	特別賞	濱崎 礼愛 (和歌山県立星林高等学校)	(題名) 臨 王鐸 臨徐嶠之帖
写真部門	奨励賞	渚澤 みなみ (和歌山信愛高等学校)	窓から覗くWADA
		太田 真緒 (和歌山県立神島高等学校)	I n v o l v e m e n t
放送部門 (アナウンス部門)	優秀賞	堀内 梨音 (和歌山県立那賀高等学校)	-
		鍛冶 彩菜 (和歌山県立那賀高等学校)	-
放送部門 (朗読部門)	優秀賞	石橋 京佳 (和歌山県立桐蔭高等学校)	-
放送部門 (オーディオビジュアル部門)	審査員特別賞	和歌山県立那賀高等学校	時を越える絆
弁論部門	特別賞(基準弁士)	中村 伊吹 (高野山学園高野山高等学校)	(演題) 食べられた命、捨てられた命
自然科学部門 (生物部門)	奨励賞	智辯学園和歌山高等学校(科学部)	(発表演題) カナブンの構造色の研究

●「第7回アジア・オセアニア高校生フォーラム」を開催しました

県では、国内外の高校生が、様々な国や地域の人たちと世界共通の課題について意見交換することにより、グローバルな視野で物事を捉える力とコミュニケーション能力を養い、将来、国際社会で活躍するリーダーとなってもらふことを目的として、「アジア・オセアニア高校生フォーラム」を開催しています。



様々な国の高校生たちと熱い議論を交わしました

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、Web会議システムを利用した開催となりました。

今年度は、16の国と地域から参加した26名の高校生の皆さんと県内47名・県外10名の高校生の皆さんが、3日間にわたって、「津波・防災対策」、「環境」、「観光・文化」、「教育」、「食糧問題」について英語で議論を行いました。

また、本フォーラムの分科会発表(注:議題ごとに分科会を構成)の様子を、オンライン配信により県内の高校生の皆さんに視聴してもらい、視聴後に発表内容の要約と感想を記載したレポートを提出してもらうこととなっています。本取組は、発表の内容を要約することで、英語技能の習得やコミュニケーション能力の向上を図ることなどが狙いで、優秀なものについては、知事から表彰を行う予定となっています。



県内の高校生の皆さんに視聴してもらいました

県では、今後も本フォーラムをはじめ、子供たちの将来の可能性を広げるための様々な取組を進めてまいります。本フォーラムの参加・視聴を契機に、高校生の皆さんが国際文化等に関心をもち、将来、世界で活躍することを大いに期待いたします。

●紀伊半島大水害の犠牲者の方々へ知事が献花を行いました

平成23年9月の台風12号により、紀南地域を中心に未曾有の被害をもたらした紀伊半島大水害の発生から10年の歳月が流れました。紀伊半島大水害では、幾つもの河川が氾濫し、各地で浸水被害や土砂災害が発生するとともに、死者・行方不明者を合わせて61名の方が犠牲となりました。

9月5日、紀伊半島大水害記念公園(那智勝浦町)、道の駅「瀬峡街道熊野川」(新宮市熊野川町)、田辺市熊野地区及び伏菟野地区にある慰霊碑等にて追悼の意を込めて、知事が献花をいたしました。



県内4ヶ所の慰霊碑等で献花いたしました

なお、当初は関係者の方々をお呼びし、「紀伊半島大水害10年追悼式」を行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、やむを得ず見送ることとなりました。

また、県では、10年が経過した節目に紀伊半島大水害による被害とこれまでの和歌山県としての取組を記録した「紀伊半島大水害復興10年の軌跡」を作成し、今後の防災・減災対策に活用していただくため、防災関係機関等に配布いたしました。本冊子は、紀伊半島大水害という悲劇を我々はどう乗り切ったか、そしてあの時の日々を教訓とし、犠牲者を二度と出さないようにするため、どのような対策をしてきたかについて記録されており、各防災関係機関等にとって、非常に有益なものとなっております。

県では、紀伊半島大水害の事実と教訓を後世に伝えるとともに、これまで以上に災害に強い和歌山県を目指し、防災・減災体制を強化・充実させてまいります。



かつての被災現場は、地元住民の方々の努力により、現在、桜の名所となっています（田辺市伏菟野地区）

●和歌山電鐵貴志駅の執行役員ウルトラ駅長である「ニタマ駅長」に和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）を授与しました

このたび、和歌山電鐵貴志駅の執行役員ウルトラ駅長である「ニタマ駅長」に和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）を授与しました。和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）は、故郷わかやまを全国に発信した功績を称えるもので、授与後は、その名称の後に「卿」を付して呼ぶこととなります。



和歌山県勲功爵（わかやまでナイト）を授与しました

これまで、平成20年に「初代・たま駅長」、平成23年にはアドベンチャーワールドの「パンダファミリー」へ同賞を授与しており、今回で3例目です。

「ニタマ駅長」は、平成27年に「初代・たま駅長」の後任となり、貴志川線の利用客増はもちろんのこと、和歌山県の観光客誘致に大きく貢献するとともに、今年の1月には、世界で二番目の猫の役員に任命されるなど、コロナ禍の中であって、明るい話題を地域に提供してくれています。

8月21日には、貴志駅で称号授与式が行われ、知事から表彰状及び^{きしゅう}徽章と副賞のキャットフードを授与するとともに、和歌山電鐵株式会社の小嶋社長からは、マントと羽根付き帽子が贈られました。

県では、これまで和歌山電鐵と連携し、「ニタマ駅長」やいちご電車といったユニークな電車を活用した観光プロモーションなどを行っており、これからも「ニタマ卿」とともに、わかやまの魅力を全国へ発信してまいります。

●きのくに線においてサイクルトレインに関する実証実験が実施されます



車両にそのまま持ち込み可能



降車後、すぐにサイクリング再開！

県内におけるサイクリング環境のより一層の充実ときのくに線の利用促進を図るため、県からJR西日本和歌山支社に働きかけを行った結果、同社により、自転車をそのまま車内に持ち込めるサービス（サイクルトレイン）の実証実験が、11月30日まで実施されることになりました。

利用可能な列車は、きのくに線の紀伊田辺駅～新宮駅間を運行する普通列車。利用可能な時間帯は、平日については午前9時から午後5時の乗車まで、土曜日と休日は、終日利用可能となっており、通勤・通学時間帯以外の当該列車の利用促進が期待できます。事前予約や追加料金は不要のため、気軽に利用することができ、自転車を解体せずに電車にそのまま乗れるため、降車後、すぐにサイクリングを楽しめます。

なお、自転車を持ち込む際は、利用者自身でゴムバンド等の固定具を持参して手すり等に固定する必要があるため、混雑時には乗車できない場合もあります。

県においても、一人でも多くの皆さんに紀南エリアをサイクリングで周遊してもらえよう、モデルコースの紹介など積極的なPRを展開していきますので、是非この機会にサイクルトレインを御活用ください。

●新たな県産地鶏「龍神コッコ」の飼養が始まりました

このたび、田辺市龍神村で明治以前から飼養され、他の日本鶏品種と交わりがない貴重な固有種「龍神地鶏」を活用し県が開発した新たな県産地鶏「龍神コッコ」の飼養が同村において始まりました。



県が開発した「龍神コッコ」

「龍神地鶏」は、その美しさから龍神村内で主に観賞用として育てられてきた地鶏で、特定の地域で、少数の個体のみが飼養されていたため、絶滅が危惧されていました。

平成24年に行った調査で確認できた個体数は68羽のみで、調査後、県ではその保存に努めてきました。

一方、近年、地域の特徴を活かした付加価値の高い地鶏が注目される中、本県には特産の地鶏品種が少なく、市町村や生産者などから県産地鶏品種の開発要望が寄せられていたことから、県では、「龍神地鶏」の恒久的な保存と県特産地鶏による地域振興を目指し、平成27年度から新品种の開発に向けた研究に取り組んでいました。

「龍神コッコ」は、在来種である「ロードアイランドレッド」との交雑により開発された卵用の鶏で、その卵は、一般的な白色卵よりも旨味成分であるグルタミン酸の含有量が多い上、濃厚な味わいでコクがあり、後味も良いことが特徴です。現在は、龍神村内で卵や卵を使ったプリンの販売が行われています。

県では、地元の関係者の皆さんと協力しながら、「龍神コッコ」の飼養数を増やすとともに、卵の販路拡大やブランド化の取組を進め、特産地鶏による地域振興につなげてまいります。

● 県立博物館で「きのくにの宗教美術 —神仏のさまざまな姿—」を開催しています

県立博物館では、現在、企画展「きのくにの宗教美術 —神仏のさまざまな姿—」を開催しています。

和歌山県には、高野山や熊野三山など、全国から多数の参詣者を集める大寺社が点在し、また県域各地の集落には、住民が幾世代にもわたって信仰拠点としてきた寺社が多数継承されており、仏像や神像、仏画が数多く伝わっています。

和歌山県立博物館ではこれまで、県内各地の寺社・堂祠の文化財調査を積極的に行っており、この企画展で公開される42点のうち、およそ3分の2にあたる26点が初公開資料です。近年の調査活動のなかで新たに確認された優れた宗教美術の数々を、「弘法大師と密教の仏」、「仏の群像」、「山の神仏、港の神仏」、「海を渡って仏は来たり」の各章に分けて公開し、神仏のさまざまな姿とその豊かな魅力を紹介しています。是非御覧ください。



今回初公開となる
「宝冠釈迦如来坐像」

【開催概要】

会 期	令和3年8月28日(土)～10月3日(日)
開館時間	9時30分～17時 (入館は16時30分まで)
休 館 日	毎週月曜日※ただし、9月20日(月・祝)は開館し、9月21日(火)に休館
入 館 料	一般 280円(230円)・大学生 170円(140円) ()内は20名以上の団体料金 ※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。また、9月5日(日)と10月3日(日)は無料入館日

● 県立自然博物館で「シロコバン」の生体展示を行っています

県立自然博物館では、全国的にも報告例が少ないコバンザメ科の海水魚「シロコバン」の生体展示を行っています。

「シロコバン」は、コバンザメの仲間で、体長が最大でも20cm程度。体色は白から灰色の模様を帯びた個体が知られています。体長の約3分の1もある背びれが変化した小判型の吸盤が特徴で、和歌山県では、大正13年(1924年)に植物・魚類の研究者である宇井縫蔵が「紀州魚類図譜」に記録して以来、報告例はありませんでした。



非常に貴重なコバンザメ
の仲間です

お知らせ

県立自然博物館では、その展示しているもののほとんど全てが和歌山に生息・生育しているものとなっています。豊かで美しい和歌山県の自然を楽しみながら、学ぶことができる施設となっていますので是非お越しくください。

開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日	毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は次の平日）及び年末年始（12月29日～1月3日）
入館料	大人480円(350円)（ ）内は20名以上の団体料金 ※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方は無料

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「ふるなび」、「ANAのふるさと納税」を御利用ください。また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良県産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元氣な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

<p>★お問合せ・申込窓口★ 〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地 総務部総務管理局税務課 担当 有本、森本、小弓場 電話 073-441-2186(直通) FAX 073-423-1192 E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp</p>	<p>★お問合せ窓口★ 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所 担当 前 電話 03-5212-9057 FAX 03-5212-9059</p>
--	--

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドマスターズゲームズ2021関西 国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭 全国高等学校総合文化祭 <p>各大会等の開催をすすめます。</p> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白良浜海水浴場 片男波海水浴場 <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 

<h3>4 がん対策の充実</h3>	<h3>11 わかやまの文化財の保護</h3>
<p>和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	<p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。 和歌山市・木ノ本八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
<h3>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</h3>	<h3>12 大切なふるさとの森を守り育てる</h3>
<p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	<p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
<h3>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</h3>	<h3>13 わかやまのナショナル・トラスト</h3>
<p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	<p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大な壮なりアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
<h3>7 南紀熊野ジオパークの推進</h3>	<p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 
<p>※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。</p>	

●ふるさと和歌山応援寄附 返礼品に定期便ができました

令和3年9月より、ふるさと和歌山応援寄附の返礼品に定期便を創設しました。和歌山県外にお住まいの方で、令和3年9月～12月の間に御寄附をいただき、返礼品として以下の14種類のいずれかの定期便を選択された場合、令和4年1月～3月の3ヶ月間、毎月、返礼品をお届けします。

番号	寄附金額	コース名	定期便の内容	
1298	¥30,000	わかやまフルーツ加工食品比べセット	1月	フルーツコンポート2本セットA
			2月	フルーツジュレ8本セット
			3月	わかやまポンチセット



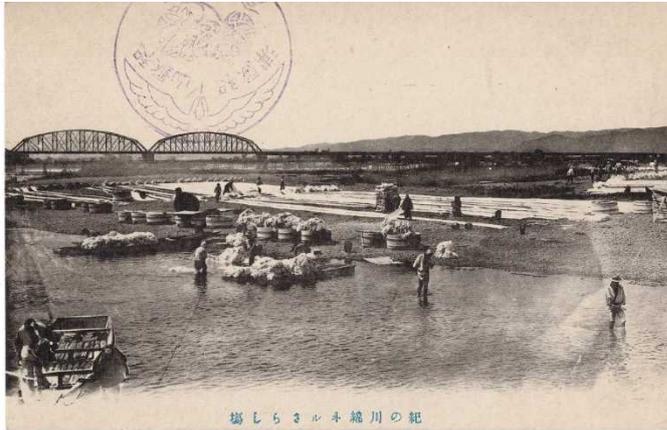
番号	寄附金額	コース名	定期便の内容		
I299	¥30,000	紀州あせ葉寿司 食べ比べセット	1月	紀州あせ葉寿司 海老 7個入	
			2月	紀州あせ葉寿司 鯖 7個入	
			3月	紀州あせ葉寿司 さんま 7個入	
I300	¥30,000	紀州あせ葉寿司・ 棒寿司食べ比べセット	1月	紀州あせ葉寿司 海老 7個入	
			2月	紀州あせ葉寿司 鯖 7個入	
			3月	さんま棒寿司	
I301	¥30,000	熊野米 3 か月定期便	1月	熊野米	
			2月	熊野米	
			3月	熊野米	
I302	¥30,000	森のねこトイレ 3 か月定期便	1月	森のねこトイレ (3袋入り)	
			2月	森のねこトイレ (3袋入り)	
			3月	森のねこトイレ (3袋入り)	
I303	¥30,000	森のねこトイレ (くずれるタイプ) 3 か月定期便	1月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	
			2月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	
			3月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	
I304	¥30,000	グルテンフリー 米粉パン 3 か月定期便	1月	グルテンフリー 米粉パン	
			2月	グルテンフリー 米粉パン	
			3月	グルテンフリー 米粉パン	
I305	¥50,000	クラフトビール 飲み比べセット	1月	和歌山有田のクラフトビールブルーウッド ブリュワリー詰合わせセット	
			2月	ナギサビール3種飲み比べ12本セット	
			3月	AGARA CRAFT 330ml瓶 12本セット	

お知らせ

番号	寄附金額	コース名	定期便の内容		
I306	¥60,000	紀州和華牛食べ比べセット1	1月	紀州和華牛赤身しゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛赤身焼肉 500g	
			3月	紀州和華牛赤身すき焼き 500g	
I307	¥60,000	紀州和華牛食べ比べセット2	1月	紀州和華牛赤身焼肉 500g	
			2月	紀州和華牛赤身すき焼き 500g	
			3月	紀州和華牛焼肉懐石	
I308	¥90,000	熊野牛食べ比べセット1	1月	熊野牛ミスジ焼肉用 500g	
			2月	熊野牛希少部位焼肉 500g	
			3月	熊野牛ステーキ懐石 3種盛り	
I309	¥90,000	熊野牛食べ比べセット2	1月	熊野牛ミスジ焼肉用 500g	
			2月	熊野牛ステーキ懐石 3種盛り	
			3月	熊野牛トマホーク 900g	
I310	¥90,000	紀州和華牛食べ比べセット3	1月	紀州和華牛ロースしゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛ロースすき焼き500g	
			3月	紀州和華牛ロースステーキ	
I311	¥90,000	紀州和華牛食べ比べセット4	1月	紀州和華牛ロースしゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛ロースすき焼き500g	
			3月	紀州和華牛ロース焼肉 500g	

●和歌山県誕生150年記念～和歌山県の産業～

明治4年（1871年）11月22日に現在の和歌山県が誕生してから、今年で150年の節目の年を迎えます。それを記念し、これまでの和歌山県の歴史を振り返ります。今回のテーマは「和歌山県の産業」です。



場しらさる綿川の紀

紀の川での綿ネル^{さら}晒し（大正中期）

和歌山藩の軍装事業立ち上げに伴い、既に和歌山で生産されていた紋羽織と呼ばれる綿織物が改良され、西洋のフランネル（毛織物）を模した綿ネル（紀州ネル）が、明治期に生み出されました。県産業の工業化の先駆けであり、後の関連する工業や産業の発展に繋がりました。



部一ノ場工造製形筒香線取蚊

蚊取り線香工場（大正末頃）

世界初の蚊取り線香は、明治23年（1890年）に上山英一郎によって有田で生まれました。当時は棒状の形で煙が細く、揮散する殺虫成分の量も少ない上、燃焼時間も約40分程度でした。その後、改良され、明治35年（1902年）に世界初の渦巻き型蚊取り線香が誕生しました。



筏^{いかだ}流し（大正末期）

トラックなどの輸送手段がない時代、木材を運ぶ手段は筏流しでした。伐採された木材を組んで筏にし、北山川から熊野川を経て貯木場のある新宮まで流しました。その技術と伝統は、現在「北山川観光筏下り」へと引き継がれています。

＜お知らせ＞令和3年8月号でお知らせした「和歌山県誕生150周年記念式典」は新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、延期となりました。延期後の開催日時等詳細につきましては、追ってお知らせします。

イベント情報(9月下旬～10月中旬)

※掲載の情報は、令和3年8月末時点のものです。
最新の情報には、各主催者へお問い合わせください。

期間	行事名	場所	問い合わせ先
9月19日 ～10月17日	くどやま芸術祭 2021	九度山町	くどやま芸術祭実行委 員会 0736-54-2019
10月1日 ～10月3日	奥之院萬燈会	奥之院 燈籠堂	総本山金剛峯寺 0736-56-2011
10月9日 ～12月12日	秋季特別展「加太淡 嶋神社展－女性・漁 民の祈り－」	和歌山市立博物館	和歌山市立博物館 073-423-0003
10月14日 ～11月22日	和歌山城天守閣・わ かやま歴史館 秋の 共同企画展示「和歌 山城天守閣を建てた 人たち」	和歌山城天守閣 わかやま歴史館 2階歴史展示室	和歌山城天守閣 073-422-8979 和歌山城整備企画課 073-435-1044

自然・風物情報(9月下旬～10月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
9月下旬	黄金色に輝くススキ の草原	紀美野町、有田川 町・生石高原	レストハウス山の家 おいし 073-489-3586
9月下旬	鷲ヶ峰コスモパーク のコスモス見頃	有田川町	有田川町商工観光課 0737-22-4506
10月上旬	「落ちアユ」漁解禁	県内各河川	和歌山県内水面漁業協 働組合連合会 0736-66-0477
10月上旬	熊野古道で「あぶり アユ」販売	田辺市中辺路町	中辺路観光協会 0739-64-1470
10月上旬	ミニトマトの収穫始 まる	印南町	印南町企画産業課 0738-42-1737
10月中旬	「大きがり」による 刈り取った稲の天日 干し	田辺市龍神村	公益社団法人龍神観光 協会 0739-78-2222

～編集後記～

8月は梅雨が戻ってきたかと思わせるくらい雨降りの日が続きました。その後の残暑も厳しかったですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

今月号は、2ページの四十住さくら選手や智辯学園和歌山高等学校野球部の選手のみなさんの表敬訪問、紀の国わかやま総文2021（全国高等学校総合文化祭）、アジア・オセアニア高校生フォーラムなど、若い方々の活躍をお伝えしたいとの思いをこめて編集させていただきました。それぞれの分野で活躍されている若い方々の姿はまぶしく、とても頼もしく思います。将来が楽しみです。

和歌山だよりといっしょに毎月お届けしています「紀州館インフォメーション」、今月は「金山寺みそ」です。和歌山では、おなじみの「おかず味噌」で、我が家でも冷蔵庫に常備していて、茶がゆといっしょにいただきます。なすやしょうが、うりなどの野菜もはいつているおいしくて体にやさしい「金山寺みそ」は、子どもの頃から大好きでした。おいしくいただいて、残暑を乗り切りたいと思います。

先日、散歩をしておりましたら、道ばたの柿が大きく実をつけているのを見つけました。まだまだ柿色にはなっていませんが、秋がすぐそこまできているのを感じました。柿が熟す日が今から楽しみです。

季節の変わり目を迎えます。みなさま、お身体にはくれぐれもご自愛ください。

知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひ御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2021年（令和3年）9月 NO.161

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026